

年間指導計画と題材の配列一覧表

【3年】

指導時期	主題名	副主題名	指導内容	指導の観点
4月 交通安全	1 通学路での交通安全	1 通学路の歩き方	安全な通学の仕方	通学路にある危険を知り、安全な登下校を心がけさせる。
		2 正しい横だんの仕方	横断歩道の安全な渡り方	右折車、左折車に注意して横断できるとともに、信号を守ることを徹底させる。
		3 ふみ切のわたり方	踏切の安全な渡り方の確認	踏切での事故は命にかかわることを理解させ、安全な通行を心がけさせる。
5月 生活安全	2 学校生活での安全	1 勉強道具の使い方	コンパスや彫刻刀などの取り扱い方の確認	勉強道具の危険な使い方を理解させ、安全な使用を心がけさせる。
		2 そうじをするとき	正しい掃除道具の使い方	正しい掃除道具の使い方を確認し、実践させる。
		3 校庭で遊ぶとき	運動施設の誤った使い方による事故の予防	学校での遊びのきまりを順守して、事故が起こらないように遊ぶ態度を育てる。
		4 じゅ業中	学校内における安全と事故の予防	安全のために気をつけなければならないことを確認し、実践させる。
		5 ろう下を歩くとき	廊下を歩くときのルールやマナーの確認	廊下を歩くときのきまりを確認し、安全な歩き方を実践させる。
		6 階段を歩くとき	階段を歩くときのルールやマナーの確認	階段を歩くときのきまりを確認し、安全な歩き方を実践させる。
6月 災害安全	3 地しんにそなえて	1 学校の行き帰りで地しんが起きたら	登下校時に地震が発生したときの身の守り方	住宅地や商店街などの地域の特徴に応じた身の守り方を考えさせる。
		2 ひなんするときのやくそく	地震発生時の避難の仕方の確認	「おさない」「かけない」「しゃべらない」「もどらない」を順守させる。
		3 一人のときに地しんが起きたら	保護者がいないときの身の守り方の確認	一人であっても身を守るための初期行動がとれるようにさせる。
7月 生活安全	4 水の事こ、ねっ中しよう	1 川や池のきけん	川や池の危険の確認	身近な地域の危険箇所を確認し、危険を避けることができるようにさせる。
		2 海のきけん	海水浴のときの危険の確認	海水浴のときの危険を確認し、危険を避けることができるようにさせる。
		3 ねっ中しように注意しよう	熱中症の予防	熱中症の予防の方法を確認させる。
9月 災害安全	5 台風、かみなりから身を守る	1 台風	台風によって起こる災害の理解	台風の被害の大きさを理解し、生命を守る努力をする態度を育成する。
		2 かみなり	雷の危険と避難の方法	雷の危険を知り、避難の方法を確認させる。
10月 生活安全	6 運動や遊びとけが	1 けがが起きやすいのはどんなとき?	校庭で遊ぶときの注意や授業中の正しい態度の確認	けがを予防するための注意事項を確認させる。
		2 けがの手当	けがの手当の仕方	擦り傷や打撲の手当の仕方を確認させる。
11月 交通安全	7 自転車の安全	1 発進・てい止	自転車に乗るときの安全な発進と停止の仕方	周囲の状況を確認して安全な発進と停止ができるようにさせる。
		2 一時てい止	一時停止による安全確認の徹底	一時停止の指定箇所だけでなく、危険を予測して一時停止による安全確認ができるようにさせる。
		3 交差点での左せつと右せつ	右折と左折の方法	右折と左折の仕方の違いを理解させ、正しい右折と左折ができるようにさせる。
		4 安全点けん	自転車の安全点検の仕方	点検を怠った自転車による事故を具体的に説明し、安全点検の重要性を確認させる。
	8 乗り物の安全	1 自動車の合図と自動車から見えなところ	自動車の合図と死角の理解	自動車の合図と死角を理解し、安全をはかれるようにさせる。
		2 自動車に乗るとき	自動車に乗るときのきまりと道路標識の理解	自動車に乗るときのきまりを確認するとともに、道路標識の意味を理解させる。
		3 電車を待つとき	集団で乗り物を利用するときのきまり	ホームでは整然と並び、先生の指示を守ることを徹底させる。
		4 電車が来たら	電車を利用するときの注意事項とマナーの確認	電車の乗降の際の注意点と車内でのマナーについて考えさせる。
12月 生活安全	9 家庭や地いきでの安全	1 火事のきけん	火事の原因と消火の際の注意	火事が起きないように予防するとともに、消火の際の注意点を確認させる。
		2 やけどの手当	やけどの手当の仕方	やけどの手当の仕方を確認させる。
		3 家のまわりで遊ぶとき	路上で遊ぶときの危険の理解	学校や自宅のまわりの危険箇所について考えさせる。
		4 冬の道路・池	雪の積もった道路や結氷した池の危険の理解	降雪時の道路、氷が張った池の危険について考えさせる。
		5 地いき安全マップ	安全マップによる地域の危険箇所などの確認	学校や自宅のまわりの状況を把握し、危険を予測する能力を養う。
1月 生活安全	10 電話の安全な使い方	1 あやしい電話がかかってきたら	不審な電話がかかってきたときの対応	不審な電話がかかってきたときの対応の仕方について話し合わせる。
		2 けいたい電話とあやしいメール	携帯電話にひそむ危険な側面	携帯電話を利用する際の注意点を知り、危険な状況に陥らないように実践させる。
		3 けいたい電話を使うときのマナーと安全	携帯電話を使用する際のマナーの理解	携帯電話の使い方を考えさせ、まわりの人に迷惑をかけない使い方を徹底させる。
2月 生活安全	11 はんざいから身を守る	1 出かけるときは	外出時に家族に伝えるべきことの確認	防犯の観点から、外出時には家族に報告する習慣を身につけさせる。
		2 暗くなってきたら	暗い夜道の危険の理解	地域の状況に合わせて、暗い道や危険な場所などを具体的に把握させる。
		3 こわいと思ったら	不審者を見かけたときの注意	危険を感じたときにはすぐに助けを求めを確認させる。
		4 知らない人に声をかけられたら	不審者から身を守る方法の確認	「いかのおすし」の意味を理解させ、危険を避けられるようにさせる。
		5 一人で家にいるとき	一人で家にいるときの訪問者や電話への対応	一人で留守番をしているときでも危険を避けることができるようにさせる。
		6 家のドアを開けるとき	一人で自宅に帰るときの注意	扉を開ける瞬間が危険であることを理解させ、周囲の安全を確認できるようにさせる。
		7 エレベーターで注意すること	エレベーターに乗るときの注意点	危険を感じたときはすぐに助けを呼べるようにさせる。
		8 ぼうはんブザーは大切にしよう	防犯ブザーを大切にすることの確認	防犯ブザーの点検を実践させ、遊びに使わないことを徹底させる。
3月 災害安全	12 地しんさいがいから身を守る	1 地しんが起きたら	地震が起きたときの身の守り方の確認	地震が起きたとき、自分のいる場所に応じた緊急避難の仕方を理解させる。
		2 身を守るために大切なこと	地震の揺れと安全な避難行動の理解	激しく揺れているうちは頭や体を守り、むやみに家の外に出ないことを徹底させる。
		3 地しんに対するそなえ	地震災害に対する備えの重要性	家族で待ち合わせ場所や避難場所を決めたり、非常用持ち出し品を準備することの重要性を確認させる。
	学んだ ことを ふり返ろう		1年間の振り返り	チェックポイントは重要な点なので、できなかったところを知り該当箇所を振り返らせる。